

# はじまりのうた

中学生を代表し壇上で語る3年生の川井萌映さん。その左は小学生代表・飯樋小6年生の荒悠斗さんとこども園代表の高橋ルイさん。3人共、大勢の前で堂々と、心のこもるスピーチを行いました。



阪神淡路大震災の直後に「しあわせ運べるように」を作詞作曲。今も被災地を励まし続ける臼井真先生(中央)に、こども園の園歌をつくっていただきました。式で披露の場面です。



新しい制服で初めて登園・登校した子ども達。素敵なデザインを贈ってくださったコシノヒロコさんからビデオメッセージが届きました。



岡本真夜さんは、「TOMORROW」など3曲を歌い、新しい園と学校の門出に、勇気と元気を贈ってくださいました。

「に強めて楽しい学校生活を送りたい」と真つ直ぐな眼差しで語りました。

式に続いては、歌手の岡本真夜さんのミニコンサートが開かれました。岡本さんと会場が声を合わせて歌う場面もあり、この日の思いが一つに重なるようなフィナーレとなりました。



## 開園・開校式

平成30年4月1日 飯館中学校体育館

中学生と小学生、小学生と園児が手をつなぎ、たくさんの鉢花で彩られた体育館に入場。輝く笑顔を大きな拍手が迎えました。



新しい物語を始めよう

「ご支援への感謝を胸に

村立の認定こども園・小学校・中学校の「開園・開校式」が、4月1日、改修された飯館中学校体育館で行われました。

新年度から村内に通園・通学する園児・児童・生徒は、合わせて104人。式には、子ども達とその家族、来賓・関係者らおよそ500人が出席しました。

子ども達は、コシノヒロコさんデザインの真新しい制服に身を包み、カラフルなゲートをくぐって入場。式では、菅野村長が「待ちに待った日。生きる力、思いやり、心の豊かさを柱に教育にまい進する」とあいさつ。中井田教育長は「『村の学校に通ってよかった』と言ってもらえるよう一丸となって取り組み」と決意を表しました。

また、代表の園児・児童・生徒が壇上で抱負を語りました。このうち、生徒代表で中学3年生の川井萌映さんは、7年間にわたる学校避難への支援に感謝し、「被災者のレッテルを自らの力ではがし、困っている人に手を差し伸べられるようになりたい。先輩後輩の絆をさ